

日本語教育機関等設置代表者 殿

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤 次郎
(公印省略)

令和2年度生活指導担当者(初任)研修の実施について(ご案内)

当協会の運営につきましては、日頃からご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

当協会では、日本語教育機関における生活指導担当者の能力向上を図るため、平成14年度から標記の研修を実施しております。今年度は初任の生活指導担当者の方を対象にして、下記の通り研修を開催することといたしました。なお今回は、新型コロナウイルス感染症が依然として収束していない状況に鑑み、オンラインで実施いたします。

つきましては、貴日本語教育機関等の生活指導担当者(事務職兼務者、教務兼務者を含む。)で参加希望者がいる場合は、令和3年1月22日(金)までにEメールで事業部宛てご推薦くださいますようお願いいたします。

記

1 日時 令和3年2月15日(月) 13:00~16:50
2月16日(火) 9:00~13:20

2 実施方法 ZOOMによるオンライン開催

3 定員及び参加要件等

(1) 定員70名程度とします。推薦は、1校につき2名までとします。

(2) 参加者は次の要件を満たす必要があります。日本語教育機関又は大学等教育機関の現場において、実際に留学生の生活指導に携わり、原則3年以内の者。

4 参加費

維持会員及び準会員機関(年会費納入校)	8,000円(税込)/1人当たり
その他の教育機関	16,000円(税込)/1人当たり

※参加費は、事前振込とし、参加者の決定通知にてご請求いたします。

5 申込方法

当協会 web サイトの参加申込みフォーム<<https://forms.gle/Bdnbud2uTDZLsqrx8>>からお申し込みください。

※円滑な受付のため、webでのお申し込みにご協力ください。Webでのお申し込みが難しい場合は、EメールまたはFAXでのお申し込みも受け付けます。

※申し込み受付後、3日以内(土日祝日除く)に、Eメールで「参加申込確認」を送信します。メールが届かない場合は、受付されていない可能性がありますので、事業部宛てご連絡ください。

6 日程

別紙のとおり

7 生活指導担当者研修専門委員

委員長 志村 信生（（学）石川学園横浜デザイン学院国際センター長）

委員（氏名五十音順）

正能 志保（新宿平和日本語学校事務長）

鈴木 えみ（大阪YMCA学院校長）

谷 一郎（与野学院日本語学校校長）

田村 源基（さくら国際言語教育学院代表理事）

中西 郁太郎（青山スクールオブジャパニーズ校長）

西村 輝夫（習志野外語学院学生部職員）

丸山 茂樹（（一財）日本語教育振興協会理事）

8 受講証明書

下記の要件を満たした受講者には、受講証明書を発行いたします。

- (1) 申込者本人が参加していること。
- (2) 研修中に行う理解度確認テストで8割以上正解すること。

9 参加者の決定等

参加者については、後日お知らせします。参加費のお支払方法についても、あわせてお知らせします。

10 ZOOM 参加について

- 研修へのご参加には、予め ZOOM に接続できる環境を各自でご準備ください。
パソコンで ZOOM を利用する場合は、ZOOM アプリをダウンロードしなくてもブラウザから参加できます。その場合は、Google Chrome、Firefox、Chromium Edge のいずれかのブラウザをご利用ください。
スマートフォン又はタブレットで ZOOM をご利用する場合は、事前にアプリをダウンロードしていただく必要があります。
(ダウンロード先 URL <https://zoom.us/download>)
- 当日は、必ず ZOOM の事前接続テストを実施し、視聴可能であることをご確認ください。
- 協会では個別の環境に起因するトラブルについて、サポートはいたしかねますのでご了承ください。
- ZOOM の参加 ID・URL 等は、追って参加者宛てお知らせします。

ご参加に際しての注意事項

本研修の録音、録画、保存は禁止します。

参加 ID、URL 等を参加者以外に共有すること、参加者以外の方が研修を視聴することは禁止いたします。

【お問い合わせ先】

事業部： 小野寺陽子・渡部

TEL： 03-5304-7815 FAX： 03-5304-7813

Eメール：y-onodera@nisshinkyo.org URL：www.nisshinkyo.org

令和2年度生活指導担当者(初任)研修日程

開催日: 令和3年2月15日(月)～16日(火)

会場:

司会・進行: 生活指導担当者研修専門委員

【1日目: 2月15日(月)】

時間	研修内容
12:20～12:50	受付
13:00～13:10(10)	開会挨拶 日本語教育振興協会理事長 佐藤 次郎 趣旨説明 実行委員長 志村 信生
13:10～14:10(60)	①講義「生活指導担当者とは/生活指導の業務内容とキャリアパス」 講師: 日本語教育振興協会理事 丸山 茂樹
14:10～15:10(60)	②講義「日本語教育機関及び留学生と出入国在留管理」 講師: 日本語教育振興協会専務理事 高山 泰(元東京入国管理局長)
15:10～15:30(20)	講義①、②に関する質疑応答
15:30～16:30(60)	③講義「生活指導担当者が対応する具体的な事例について」 講師: 習志野外語学院学生部職員 西村 輝夫
16:30～16:40(10)	理解度確認テスト1 (講義①、②、③)
16:40～16:50(10)	2日目についての連絡事項

【2日目: 2月16日(火)】

9:00～9:20	受付
9:30～11:00(90)	④講義「コロナをきっかけに考える感染症対策」 講師: 与野学院日本語学校 校長 谷 一郎
11:00～12:00(60)	⑤講義「教育機関の選定基準と在籍管理について」 講師: 横浜デザイン学院国際センター長 志村 信生
12:00～13:00(60)	⑥グループワーク 「生活指導担当者(初任)が知っておきたいケーススタディ」
13:00～13:10(10)	理解度確認テスト2 (講義④、⑤、⑥)
13:10～13:20(10)	閉会

○日程は変更になる場合があります。

○別紙「令和2年度生活指導担当者研修のねらい」参照

令和2年度生活指導担当者(初任)研修のねらい

全体のねらい

昨年は新しく創設された在留資格特定技能の受入れが注目され、日本語教育機関の重要性が再認識されてきた矢先、今年度は新型コロナウイルス COVID-19 感染拡大により、日本語教育機関のとりまく環境は一変しました。現在生活指導担当者は、通常の業務に加え、新型コロナウイルスの対応に追われ、本来の業務内容を整理し理解する機会が取れない状況にあると感じています。

日本語教育振興協会では、昨年度より経験年数3年以下の生活指導担当者を対象にした初任者研修を始め、幅広い業務を概観し、必要な基礎知識を学ぶことができるプログラム構成にし、生活指導担当者用教材も整備してきました。

今回の2日間の研修により初任者が、生活指導担当者の仕事の全体像をつかみ、個別事例を学ぶことで、明日からの業務で実践できる内容にしております。同時に変化の激しい出入国在留管理庁の外国人材政策についての理解や新型コロナウイルス感染拡大防止のポイントにも触れ、留学生を受け入れる教育機関の教職員として、外的環境に適応するための研修となります。

今回の研修は、新型コロナウイルス COVID-19 感染拡大防止のため例年のような集合研修を行わず、ZOOMによるオンライン講義を行うことにいたしました。そのため参加費を下げ、より全国各地からご参加いただきやすくいたしました。

①講義「生活指導担当者とは/生活指導の業務内容とキャリアパス」

生活指導担当者は、学生募集から進路指導まで幅広い業務領域があります。まずはその法的位置づけ、業務領域・それぞれの業務内容を理解し、生活指導担当者としての心構え、生活指導において留意しておかなければならないことについてお話します。また初任から中堅へ、生活指導担当者のキャリアについてもご説明いたします。

②講義「日本語教育機関及び留学生と出入国在留管理」

留学生の生活指導を行うにあたっては、まず我々自身が我が国の関連法規に精通していなければなりません。入管法や告示基準などを中心に我々の業務に絡めて解説します。現在の出入国在留管理の政策の方向性についてもご説明いたします。

③講義「生活指導担当者が対応する具体的な事例について」

生活指導担当者が行う業務領域の整理を行い、各業務に対応した具体的な事例について触れ、より実践的なポイントについて学びます。

「理解度確認テスト」

受講者の皆さんの理解の向上のために講義①、②、③に関する確認テストを行います。

④講義「コロナをきっかけに考える感染症対策」

今回のコロナウイルス感染拡大を受けて作成された「日本語教育機関における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を参考に、全般的な感染症予防や実際に感染症が発生した場合の対応など、必要なポイントを学びます。

⑤講義「教育機関の選定基準と在籍管理について」

令和2年4月に教育機関の選定基準が変更となり、日本語教育機関は、学生が高等教育機関に進学した後の期間更新手続きなどにも留意する必要性が出てきました。生活指導担当者として、在籍管理の重要性を認識していただくとともに、在籍管理の基礎的なポイントを学びます。

⑥グループワーク「生活指導担当者（初任）が知っておきたいケーススタディ」

生活指導は、大きく、来日時・初期、在学中、修了・退学時と3つのステージに分けることができます。それぞれのステージにおいて生活指導担当者が直面する基礎的、典型的な事例について、ZOOMによるグループワークによって、ケーススタディを行います。

「理解度確認テスト」

受講者の皆さんの理解の向上のために講義④、⑤、⑥に関する確認テストを行います。

令和2年度生活指導担当者(初任)研修参加推薦書

令和 年 月 日

一般財団法人日本語教育振興協会理事長 宛て

会員番号 ※日振協認定校からご参加 の方のみご記入ください		代表者名	
機関名			
連絡担当者	TEL		
	氏名		
	E-mail(参加申込確認及び 参加決定通知送付先)		

標記の研修に下記の者を参加させたいので、推薦します。

記

1.参加希望者

推薦順位	1		2	
ふりがな				
氏名				
年齢 (R3.1.1現在)	歳	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	歳	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
主たる業務	<input type="checkbox"/> 生活指導 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 教務		<input type="checkbox"/> 生活指導 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 教務	
生活指導担当者としての 経験年数	年	月	年	月
事務職員としての 経験年数	年	月	年	月
教務職員としての 経験年数	年	月	年	月
※生活指導担当者として の通算経験年数 (R3.1.1現在)	年	月	年	月
Email(ZOOM参加ID・ URL・研修資料等送付 先)				

※(1)複数の職場に生活指導担当者として、勤務実態のある場合の通算年数とする。

※(2)経験年数に関しては、未経験の場合、「0」を記入すること。

令和3年1月22日までに事業部(Eメール y-onodera@nisshinkyo.org)宛て送付願います。